

# 阿木川ダム

阿木川は過去何度も洪水をおこし、沿岸住民は大きな被害を受けてきました。沿岸各都市の水不足と洪水から住民の生命、財産を守るために昭和 42 年建設省にて多目的ダムの計画が立案され、昭和 44 年 4 月から建設省(現、国土交通省)が調査(実施計画調査)を開始します。昭和 51 年 10 月に水資源公団(現、独立行政法人水資源機構)が事業を継承。ダム建設にともなう関係者・関係自治体の 10 余年にわたる交渉・調整・協力等を得て円満に建設が進められ(中津川市・阿木川ダム対策協議会, 1980 年)、1,078 億円をかけ H3 年 3 月に完成し、4 月からダム管理業務がはじまりました。

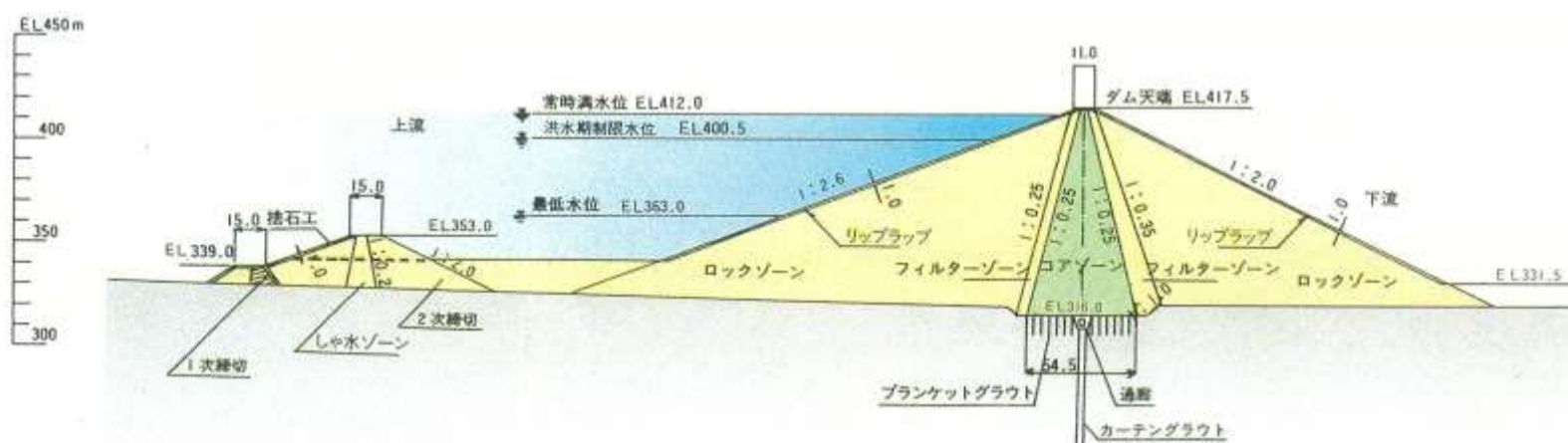
阿木川ダムの流域は、中津川市、恵那市によって構成され、中津川市焼山(1,709m)を源としています。木曾川の河口からおよそ 110 km 上流の木曾川水系阿木川に建設されています。左岸は岐阜県恵那市東野字山本に右岸は岐阜県恵那市東野字花無山に位置しています

## ダムの構造

### ●中央土質しゃ水壁ロックフィルダム

ロックフィルダムは、土や岩石を材料として盛り立てて作られるダムで、中央遮水壁は、水漏れを防ぐためにダム中央部にコアとよばれる水を通さない粘土質の材料を盛り立てます。阿木川ダムではコアゾーンには花無山低位部の恵那礫岩層と崖錘堆積物を、フィルターゾーンには河床砂礫と風化流紋岩の混合物を、ロックゾーンにはダムサイト上流の岩村川右岸の飯羽間地区の濃飛流紋岩を利用しています。

### ●総貯水容量 4,800,000 m<sup>3</sup> 堤高 101.5m、堤長 362m



阿木ダム写真集 p 22 (水資源開発公団阿木川ダム建設所, 1991 年 3 月) より

## ダムの目的等

阿木川ダムは、洪水調節、河川環境の保全等及び新規利水(水道用水、工業用水)の供給を目的とした多目的ダムです。洪水調整をして下流の人々を守ります。

阿木川湖(ダム湖)には陸封アユが生息しており、毎年 5 月から 6 月にかけて、地元の漁協により、阿木川貯留ダムの魚道を遡上するアユを捕獲し、管轄内の河川に放流しています。阿木川湖で採捕された稚アユは、恵那市・中津川市内の河川に放流され、多くの釣り人が訪れています(独立行政法人水資源機構 阿木川ダム管理所 HP より)。

また、阿木川ダム周辺には公園、遊歩道等も整備され楽しめる空間となっています。適時にダムから放水される景色は幻想的で、見学に訪れる人も多くいらっしゃいます。



阿木ダム工事誌 巻頭写真 (水資源開発公団阿木川ダム建設所, 1991 年 3 月) より

## 湖底に沈むもの

阿木川ダム建設に際して表の示す通り 178.2 ha の土地が湖に沈むことになりました。阿木の生活圏では青野・阿曾田・野田・宮田地内の家屋・農地等が対象となりました。なお工事前に発掘調査が行われ、阿曾田地区では縄文初期～鎌倉時代の遺跡が発見されています(渡辺 誠 編集, 1985 年 3 月)。

## 文献

水資源開発公団阿木川ダム建設所. (1991 年 3 月). 阿木川ダム工事誌. 恵那市: 水資源開発公団阿木川ダム建設所.

水資源開発公団阿木川ダム建設所. (1991 年 3 月). 阿木川ダム写真集. 水資源開発公団阿木川ダム建設所.

中津川市・阿木川ダム対策協議会. (1980 年). 阿木川ダム対策記録誌. 中津川市: 中津川市.

渡辺 誠 編集. (1985 年 3 月). 阿曾田遺跡発掘調査報告書. 中津川市教育委員会.

区分	総水没面積	水没戸数	水没農地
中津川市	71.2 ha	13 戸	19.1 ha
恵那市	67 ha	0	0
岩村町(現恵那市)	40 ha	17 戸	8 ha
計	178.2ha	30 戸	27.1ha